

議会 だより

こがし
古河市

第 **77** 号

令和5年9月1日

編集／議会だより編集委員会

発行／古河市議会

[ホームページ](#)

古河市議会

検索



改選後、初めての定例会

令和5年第2回定例会開催

第2回定例会は6月13日から6月23日までの会期11日間で開かれ、報告6件、議案13件について審議しました。一般質問は6月20日、21日、22日に行われ13名の議員が登壇しました。請願1件、陳情5件については、3ページの請願・陳情一覧表のとおりとなりました。

令和5年第2回定例会 議決一覧表

議案番号	件名	議決日	議決結果
議案第51号	古河市公共事業再評価委員会設置条例の一部改正について	5.6.23	原案可決
議案第52号	古河市税条例の一部改正について	5.6.23	原案可決
議案第53号	古河市手数料条例の一部改正について	5.6.23	原案可決
議案第54号	古河市印鑑条例の一部改正について	5.6.23	原案可決
議案第55号	古河市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び古河市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	5.6.23	原案可決
議案第56号	古河市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	5.6.23	原案可決
議案第57号	財産の取得について	5.6.23	原案可決
議案第58号	財産の取得について	5.6.23	原案可決
議案第59号	財産の取得について	5.6.23	原案可決
議案第60号	市道の路線廃止について	5.6.23	原案可決
議案第61号	市道の路線認定について	5.6.23	原案可決
議案第62号	さしま環境管理事務組合同規約の一部を改正する規約について	5.6.23	原案可決
議案第63号	令和5年度古河市一般会計補正予算（第2号）	5.6.23	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

この人に決まりました！

～茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員～

令和5年6月20日に茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の任期が満了となったため、定例会最終日に議会議員選挙が行われ、次の議員が選出されました。

佐藤 泉 議員

請願・陳情一覧表

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
令和5年 請願第4号	ぐるりん号の運行改善の請願	総務常任委員会	継続審査
令和5年 陳情第2号	古河駅東西の街灯点灯時間の統一	総務常任委員会	趣旨採択 (※)
令和5年 陳情第3号	「死体埋葬許可証」の名称法改正陳情	文教厚生常任委員会	不採択
令和5年 陳情第4号	子育て拠点施設西側敷地に関する陳情	文教厚生常任委員会	継続審査
令和5年 陳情第6号	「ぐるりん号のダイヤ改正等を早期に求める」陳情	総務常任委員会	採択
令和5年 陳情第7号	「古河市公共交通における交通弱者に対する合理的配慮と確かな実践を求める」陳情	総務常任委員会	採択

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

※趣旨採択・・・請願・陳情の願意は妥当だが、その一部の実現が困難と思われ、「趣旨については賛成」とするもの

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会					古河市 公明党					市民ベースの会					真政会			無党派					
	佐藤 泉	小森谷博之	鈴木 務	小林登美子	印出 慎也	赤坂 育男	鈴木 隆	渡邊 澄夫	高橋 秀彰	佐藤 稔	霧見久美子	佐々木英徳	増田 悟	落合 康之	阿久津佳子	立川 徹	佐々木里加	関口 和男	黒川 輝男	園部 増治	青木 和夫	稲葉 貴大	古川 一美	秋庭 繁
議案第52号		○				-	○		○			×			○				○			○	×	
議案第53号		○				-	○		○						○				○				×	×
議案第54号		○				-	○		○			×			○				○			○	×	
議案第63号		○				-	○		○			×			○				○			○	×	
令和5年 陳情第3号		×				-	×		×			○	×	○		×			×			○	○	

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

第2回
定例会

一般質問

第2回定例会の一般質問は、6月20日、21日、22日の3日間行われ、13名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたぐすため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。



佐々木 英徳 議員



「COCOLOプラン」を受けての不登校支援の推進について

問 文部科学省が発表した「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」を受けて、不登校児童生徒の保護者を支援していく取り組みや、不登校児童生徒の多様な学びの場および多様な学びの場での成績評価について、課題と所見を伺う。

答（教育部長） 市のスクールカウンセラー等を学校に派遣する

など、保護者を支援する体制を整えている。多様な学びの場として、校内の別室で適宜対応し、学校外では教育支援センターを市内に3カ所設置している。成績評価は、紙媒体やオンライン、多様な資料を用いて反映している。今後も児童生徒本人、保護者と連携し、寄り添いながら支援を継続していく。



熱中症対策の推進について

問 気候変動の影響により、国内の熱中症死亡者数は増加傾向

が続いている。こうした状況を踏まえ、熱中症対策を強化するため、高齢者世帯等の熱中症対策および子どもの熱中症防止の取り組み等について、課題と所見を伺う。

答（福祉部長） エアコンの早期点検等の注意喚起を進める。物価高騰による使用控えが増える可能性がある一方で、高齢者の命を守るためにも節電に配慮したエアコンの適正使用の普及啓発に努める。

答（教育部長） 令和2年度には児童生徒全員に冷却タオルを配布し、熱中症対策に一定の成果があったと考えている。熱中症警戒情報が発令された場合は、各学校の計画による対応策を実践している。



黒見 久美子 議員



行政区、自治会等のデジタル化について

問 人口減少や高齢化、ライフスタイルの変化により、行政区、自治会への加入が減少している。加入により、さまざまな課題や問題も発生している。デジタル技術を活用し、負担軽減を進めていくべきである①デジタル化に向けて電子回覧板などの導入について②共助の仕組みの見直しや再構築について所見を伺う。

答 (市長) ②地域全体でメリッ

※高次脳機能障害…脳の損傷に起因する認知障害全般のこと

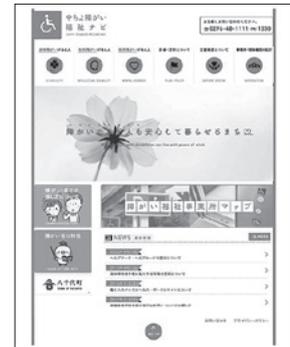
トを感じられる支援制度の再構築や、市からの依頼業務を見直し持続可能な行政区、自治会の確立に向け取り組んでいきたい。
答 (市民部長) ①独自に導入・活用している自治会を参考に、市民が身近に情報収集できるよう支援していきたい。

福祉情報発信の充実について

問 よりよい福祉サービスの情報を、すぐに得やすい発信が必要である①ホームページ上に障がい福祉ナビとしての単独掲載について②高次脳機能障害^(※)など周知が必要である。チラシ等の配布について伺う。

答 (福祉部長) ①障がい福祉の関連情報を整理し、市民が求め

る必要な情報を容易に取得できるよう、ホームページの改善に取り組んでいく。②茨城県高次脳機能障害支援センターが作成したチラシを、障がい福祉課の窓口で配布している。今後は、ホームページや広報も活用し、周知していく。



八千代町公式ホームページより

《その他の質問》

- ・自転車用ヘルメットの購入費助成について



高橋 秀彰 議員



心身障がい児者等の歯科診療体制の充実について

問 心身障がい児者等の口腔ケアや歯科疾患の予防、治療、口腔健康管理などの歯科診療は、さまざまな障がいの特性により、困難を伴う場合が多い状況である。こうした中、心身障がい児者等の歯の健康を保つためには、家族や医療関係者等が連携し、障がいの程度や全身疾患の有無、食生活習慣等を把握するなど、それぞれの状況に応じた対応が必要であり、歯科診療や歯科保

健指導などが市内において、身近に受けられる歯科診療体制の充実が喫緊の課題である。本市では、今後、あらゆる手立てを講じ、心身障がい児者等の歯科診療体制の充実に取り組む必要があると考えるがどうか。



答 (市長) 心身障がい児者等が、身近な場所で治療を受けられるよう、歯科医院設置の要望があることは十分に認識している。設置に当たっては安定した運営体制等、課題が多いことも事実

であるが、心身障がい児者等が住み慣れた古河市で安心して生活できるよう、今後も県への要望、歯科医師会との協議を深め、実現に向けて検討を進めていきたい。

答 (福祉部長) 令和元年度に行った市内歯科医院等に対するアンケート調査によれば、回答のあった47カ所のうち、10カ所程度の医院が障がい児者を受け入れている。また、受け入れについて、関心を持っている歯科医院が一定数存在していることが分かったので、市内歯科医院等での受け入れを促進できないかと考えている。

《その他の質問》

- ・マンションの適正管理について



佐藤 稔 議員



「書かない窓口」の推進について

問 市役所窓口業務における「書かない窓口」への取り組みが進められているが、市の現状と今後の課題等について伺う。

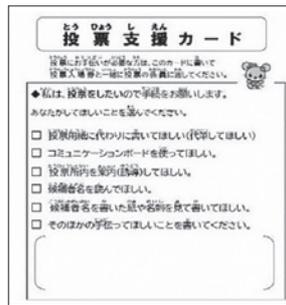
答（市長） 課題はないが新しい取り組みに時間がかかっている。デジタル社会に対応した次世代型行政サービスへの改革と捉え、今後も積極的に進めていく。

答（市民部長） 各庁舎にタブレットを配置し、申請書を書かずに

証明書を取得できるようになっている。今後は、国の動向を注視しつつ、最適な書かない窓口の推進に努めていきたい。

「投票支援カード」の導入について

問 障がい者や高齢者が安心して投票ができるように、投票時にサポートしてほしい内容が記載された「投票支援カード」の導入を提案するが、市の考えを伺う。



投票支援カード（四国中央市）

答（選挙管理委員会書記長） 投票支援カードは、どのような支援を求めているかをすぐに判断できるため、円滑な投票事務につながると考える。導入に向けて検討し、投票しやすい環境づくりと市民への周知に努めたい。

「空き家対策への新たな取り組み」について

問 今回の空き家対策特別措置法の改正では、管理が不十分な空き家について固定資産税の減免措置が対象外となるが、今後の市の対応について伺う。

答（市民部長） 第2期古河市空き家等対策計画を基に、対応策を提案したいと考えている。今後は空き家を有用な資産と捉え、利活用を促進していきたい。



印出 慎也 議員



地域における学校とスポーツの振興について

問 学校は地域の市民にとって貴重なスポーツの場所でもある。市民からの学校施設への要望をどう対応していくのか伺う。

業で小学校の体育館や校庭を市民に開放している。地域の要望も勘案し、夜間照明の改修など修繕計画を立て実施している。

道路行政について

問 市議会議員に当選してから、市民からの要望で一番多いものが道路に関するもので、透明性確保のためにも整備する道路の優先順位を古河市ホームページへ掲載すべき。

答（市長） 市民の皆さんは切実な思いで要望している。生活道路整備評価基準表により整備の理由は説明できるが、すべてを公表することで整備しないと受け取られてしまうこともあるため、公表するのは難しいと考え

ている。

地域活性化の推進について

問 令和5年4月に市はブランド戦略室を設置したが、その目的を伺う。

答（企画政策部長） 市民意識調査を分析し、課題解決のためブランディングの手法を用いシビックプライド^(※)を醸成することが有効であると考え設置した。

風通しのよい市役所の実現について

問 過去10年のハラスメント認知件数を伺う。

答（総務部長） 平成30年度以降、認知件数は無かった。



答（教育部長） 学校施設開放事

※シビックプライド…地域への誇りと愛着のこと



小林 登美子 議員



古河市のSDGsの推進状況について

問 これまでの推進内容と、県内の市町村において、SDGs トップランナーとしての今後の取り組みや展望について伺う。また、SDGsは達成するものであるが故に、公表の際は分かりやすく数値化することを提案する。

答（企画政策部長） 策定中の総合計画等と関連付けを行う。引き続き、登録パートナー(*)と
*登録パートナー…古河市SDGsパートナー登録制度に登録を行った団体・企業

協力しながら、新しい価値を創り出す取り組みを通じて、目標達成に向け推進していきたい。公表の際には、分かりやすさと目に見える形を心掛けたい。

子育て支援について

問 国が打ち出した異次元の子育て支援を、古河市はどう認識し、将来の古河市に、どのような効果と支援内容を追求するのかについて伺う。



答（福祉部長） 国の基本理念に

基づく政策に取り組むことは、重要であると認識している。現在行っているマル古や妊産婦助成のほか、今後も市独自の支援を検討する。子育て支援を行うことで、子どもを産み育てやすい環境を整えたい。

高等教育機関の誘致について

問 必要性の認識と誘致の課題、また効果や狙いについて伺う。

答（市長） 古河市の現状、市民や企業のニーズを把握し、必要性和効果を導き出しながら、誘致の可能性を探りたい。

答（企画政策部長） 年度末に、共同調査研究事業による最終報告書を取りまとめ、公表する予定である。



鈴木 務 議員



通学路の現状について

問 通学路を決めるに当たっては道路の幅員が児童生徒の通行を確保できる状態であり、路面や側溝などの占有状態が良好であること。これらの観点から①通学路の危険箇所対応について②通学路整備要望書の件数と対処について（通学路が絡んでいる物件）状況を伺う。

答（市長） ①安全面の担保を優先に、問題点や危険箇所の改善

に随時取り組んでいきたい。

答（都市建設部長） ②受理済みは約160件、うち通学路を含むものが41件、本年度は6路線の整備を予定している。

答（教育部長） ①通学路安全推進会議で、現状把握と対応策を協議している。必要に応じ現地へ赴き、通学ルートの見直しも視野に入れ、検討を進めている。



通学路の危険箇所

い部活動を構築すべきと部活動ガイドラインを作成した。①働き方改革を踏まえた地域部活動改革とは②生徒や保護者に十分な理解が得られているのか③部活動から地域部活動さらに地域クラブ活動に移行した場合、保護者の負担増は避けられないのではないか、以上について伺う。

答（教育部長） ①本年度は各中学校につき1つ以上の部活動で、部活動指導員が休日指導を行うという目標を掲げ、現在指導員の確保を進めている。②県や市が作成したチラシ等を保護者や中学校へ配布した。③指導者の報酬など新たな負担が想定されるが、負担軽減のための対応を、国や県の動向を見極めながら検討していく。

部活動改革の方策について

問 文部科学省は生徒の望まし



佐々木 里加 議員



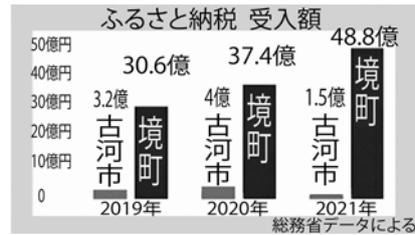
活力あるまちづくりのための「ふるさと納税」について

問 ①古河市におけるふるさと納税の受入額と使い道を伺う。

②先進的事例である隣接自治体、境町のふるさと納税受入額について問う。

答（企画政策部長） ①2021年の受入額は1億5,812万円、使い道は、ふるさと振興基金への積立と14の事業に充当している。②総務省のホームページによれば、境町の2021年度受入額は

48億8,602万2,000円と公表されている。



問 ③先進的事例との実績の差について、市長の考えを問う。

答（市長） ③国の基準により適正な運用に努めている。事業推進には、注目度を高める工夫と魅力的な返礼品が必要と考える。

問 ④古河市におけるDMO（観光地域づくり法人）またはTMO（タウンマネジメント機関）は存在するか。存在する場合、その沿革、現

在の事業内容、経営実態を問う。

答（産業部長） ④DMOは一般社団法人まくらがDMCで、令和2年設立、市内の古民家を活用し農泊事業に取り組んでいる。TMOは株式会社雪華で、平成8年設立、お休み処坂長の指定管理者、古河公方公園内のジェラテリアの運営を担っている。

問 ⑤先進的事例を参考に、ふるさと納税の寄付額を増やすため、今後行っていく具体的な取り組みを問い、同時に提案する。

答（企画政策部長） ⑤担当による制度説明、アドバイス等で返礼品を増やしている。効果的なPRにより新規寄附者を増やし、リピーターを確保したい。



阿久津 佳子 議員



古河市公共交通について

問 ①ぐるりん号のダイヤ・ルート改正により、多くの市民から利便性が悪くなったとの声が寄せられている。早期ダイヤ改正の有無について。②デマンド交通「愛・あい号」料金体系の見直しや交通弱者から福祉車両導入の要望が多く上がっている。③制度設計中の高齢者タクシー料金助成制度と市内公共交通との融合は、市民への最大限の利便性向上につながると考える。

以上、所見を伺う。



市内7ルートを運行する「ぐるりん号」

答（市民部長） ①改正は駅や公共施設で乗り換えが可能なダイヤを基本方針とした。改正後2カ月余りであり、利用傾向を分析し運行事業所との調整を行い検討したい。②市内全域運行に伴い、最大15キロメートル以上の移動となるため3段階の料金体系で応分の受益者負担とした。利用状況を分析、検証していきたい。福祉車両は福祉部門と協

議を重ね課題解決に努めていく。

答（福祉部長） ③既存事業と混乱を生じないように制度設計を考えている。将来的には制度融合も視野に入れ検討したい。

キャリア教育の推進について

問 終生まで長期に渡る、児童生徒のキャリア教育をどのように推進していくのかを伺う。

答（教育長） 指導者がキャリア教育の視点を持ち、教育活動を展開していく。子どもたちが自分の良さや可能性に気づき、人生を切り開くきっかけとなるよう学ぶこと、働くこと、生きることのつながりを大切にした古河市のキャリア教育を各学校に寄り添って指導し、推進する。



増田 悟 議員



市の人口減少について

問 現在国や地方の課題は、少子化による人口減少問題であると思う。令和4年1月から12月までの国の出生数は79万9728人となり、統計以来初めて80万人を下回ったとのことで、県内市町村が全力で子育てや新婚への補助に力を入れている。若者に選ばれるまちづくり、移住支援についての政策は、各自治体で新婚家庭家賃助成や住宅取得費の一部補助など、また

境町では全小学校への無料先進英語教育に取り組むとのことである。市として人口減を食い止めるにはどんな考えか伺う。

答（市長） 先進事例を参考に課題解消に向け、市全体で力を入れて取り組んでいく。

答（企画政策部長） 移住・定住促進への各種奨励金を交付するなど、市内外から選ばれる魅力ある施策を展開し、対策していきたい。



二セ電話詐欺について

問 被害は高齢者が多く老後の

生活ができなくなると思う。令和元年から4年の被害件数と金額について伺う。注意の呼び掛けや啓発キャンペーン実施についても伺う。

答（市民部長） 古河警察署管内の被害状況は、令和元年が33件、3,077万円、令和2年が9件、452万円、令和3年が21件、2,752万円、令和4年が19件、2,848万円である。古河警察署と連携し、防犯ボランティア団体の協力の下、金融機関やスーパーマーケットを訪問し、イベントでの啓発活動も行っている。

答（産業部長） イベントや市広報で注意喚起を行い、消費者センターでは、相談や出前講座による啓発を実施している。



園部 増治 議員



大堤南部土地区画整理事業と（仮称）南古河駅の早期実現について

問 大堤南部土地区画整理事業は、（仮称）南古河駅の受け皿づくりという観点から平成8年に都市計画決定された。令和4年第1回定例会に地権者121名から区画整理事業推進の請願が提出され採択された。その後、市の動きが見られなかったため、本年5月27日付けで大堤行政区長が中心となり、市長宛てに要望書が提出された。具体的には、

1. 区画整理の範囲を絞り込む
 2. 地権者説明会を実施する
 3. 区画整理事業を立ち上げる
 4. 国・県に新駅の要望をする
 5. 現道拡幅の進捗状況の説明と早急な整備を
- 市民の気運の醸成を図り、魅力あふれるまちづくりを望む。



大堤南部地区まちづくり説明会（7月29日）

答（市長） 請願が採択された後、現在は住環境の改善に向けた取り組みとして、北側集落地区の道路拡幅整備に向け測量などの

説明会を実施し、用地買収に向けた地元説明会、地権者との協議を進めている。大堤南部地区のまちづくりは、道路整備が進むことで地元の合意形成につながることを期待している。要望書の対応はもう少し時間をいただきたいが、意向調査アンケートなどを早急に実施したいと考えている。大堤南部土地区画整理事業予定地で、どのような整備手法がとれるのか要望書の意見を考慮し、地元の意見に耳を傾け、（仮称）南古河駅の設置と歩道を合わせ取り組んでいきたい。（仮称）南古河駅の建設は、より輸送力のある交通機関が生まれ、旧古河の地域の南北を結ぶ大動脈ができるという見方もあるので、まちづくりに関して理想を追い求めていきたい。



古川 一美 議員



古河市ブランド戦略について

問 市内外に古河の魅力を発信するため約8千万円で委託した事業の①委託契約終了後の事業展開②期待する成果を伺う。



古河市ブランド戦略ロゴマーク

答 (副市長) ②暮らす市民が褒めるまちをゴールに、移住定住

に結び付くことを目指していく。
答 (企画政策部長) ①市民が市の魅力を再発見、自らが発信できる取り組みを進めていく。

出産・子育て支援について

問 国の施策として行われているものが多く、他自治体との差別化が難しい。古河市として特に力を入れているものは。

答 (福祉部長) 児童発達支援センターを直営で実施している。民間施設等の要支援児受け入れに当たり補助金を交付している。

ヤングケアラー支援について

問 背景には生活困窮、病気、高齢介護、障がいなどの問題が

あり、庁内での連携、重層的支援体制の確立が求められる。今後の支援体制は。

答 (福祉部長) ヤングケアラーを直接支援できる家事援助、食料や日用品の支援を充実させる。

マイナンバーカードの問題について

問 全国でトラブルが多発しているが①古河市ではトラブルはないのか。②対策は十分か。

答 (企画政策部長) ①委託業者が運営する窓口でマイナポイントの誤紐付けがあった。②委託業者に研修等の徹底を指示した。

答 (市民部長) ②システムの仕様上、証明書の誤交付等は発生しないものと認識している。



秋庭 繁 議員



給食費の無償化と自校調理方式の存続について

問 県内で給食費の無償化が進み、国も子育て支援策に給食費の無償化を言い出している。コロナ禍で貯め込んだ基金活用でやる気があるのか問われている。

答 (市長) 国の具体的な方策は明らかにされておらず、情報を集め検討したい。今年度だけの無償化であれば貯金を取り崩すことも可能だが、継続的に行わなければ意味がない。市には余

裕がなく万が一の時に市全体を回していくため、どこに重点配分するかを考え財政を運営していきたい。

ぐるりん号・デマンド交通 (愛・あい号) について

問 福祉バスとして発足し喜ばれていたが、再編によって苦情が殺到。議会に改善を求める請願も出されている。利用者の声に応え早急に改善を求める。



減便となったぐるりん号南コース

答 (市民部長) 限られた財源の中で受益者負担の統一性を図り

たい考えがあった。市民からの要望を真摯に受け止めニーズを把握、検証したい。公共交通活性化会議に諮り、見直しのできるところから進めていきたい。

老人福祉センター存続について

問 来年3月まで運営するのに温泉井の解体、トイレを直さないのは人権侵害。老人福祉センターの存廃について県に相談に伺った方がいる。老人福祉法に反しないか。

答 (福祉部長) 将来を見据え持続可能な高齢者福祉サービスを図るため、ハード事業からソフト事業に転換し、新規拡充したソフト事業を令和5年度より前倒しで実施している。

古河市議会会派一覧

古河市議会は、会派制をとっています。会派とは、議会内に結成された政治信条を同じくする議員の同志的集合体のことで、政策立案、政策決定および政策提言に関し、必要に応じて会派内で調整を行い合意形成に努めます。古河市では現在4つの会派があります。

政友会 (8名)

会長	佐藤 泉	副会長	小森谷博之
幹事長	鈴木 務	会計	小林登美子
会員	印出 慎也	会員	赤坂 育男
顧問	鈴木 隆	顧問	渡邊 澄夫

古河市公明党 (4名)

会長	高橋 秀彰	副会長	佐藤 稔
幹事長	靄見久美子	会計	佐々木英徳

市民ベースの会 (6名)

会長	増田 悟	副会長	落合 康之
幹事長	阿久津佳子	会計	立川 徹
会員	佐々木里加	会員	関口 和男

真政会 (4名)

会長	黒川 輝男	副会長	園部 増治
幹事長	青木 和夫	会計	稲葉 貴大

会派に属さない議員 (2名)

古川 一美

秋庭 繁

ようこそ 議場へ



6月1日、古河市立第五小学校3年生の児童15名が市役所見学の一環で議場を見学しました。少し緊張しながら議員席に座り、真剣に説明を聞いていました。

議場コンサート再開

長らく中止していた議場コンサートを、第3回定例会より再開します。応募方法など詳細については、市ホームページもしくは議会事務局までお問い合わせください。

議員表彰

地方自治の振興発展に寄与した功績が認められ、全国市議会議長会より5名、茨城県市議会議長会より6名の議員が表彰されました。



全国市議会議長会・県市議会議長会

《議員在職20年表彰》

増田 悟 議員
園部 増治 議員
落合 康之 議員
佐藤 泉 議員
倉持 健一 前議員

県市議会議長会

《議員在職8年表彰》

稲葉 貴大 議員



議員研修会を開催しました

7月19日、山本和真氏（株式会社トラストバンク）を講師に招き、「ふるさと納税の活用～全国の好事例と古河市での活用法～」をテーマに、議員研修会を開催しました。



◆◆◆ 令和5年 第3回定例会の会期予定 ◆◆◆

月日	会議	内容
8月31日(木)	本会議	開会、議案の説明
9月1日(金)	休会	議案調査
9月4日(月)	本会議	質疑、議案の委員会付託
9月5日(火)	常任委員会	総務常任委員会、産業建設常任委員会
9月6日(水)	常任委員会	文教厚生常任委員会
9月7日(木)	特別委員会	決算特別委員会
9月8日(金)	特別委員会	決算特別委員会
9月11日(月)	特別委員会	決算特別委員会
9月12日(火)	本会議	議場コンサート、一般質問
9月13日(水)	本会議	一般質問
9月14日(木)	本会議	一般質問
9月15日(金)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

○開催時間は午前10時です。

○産業建設常任委員会の開催時間は午前10時15分です。

※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

第2回定例会の傍聴者数

本会議	68人
委員会	2人
合計	70人

※傍聴者数は延べ人数

議会の様子・会議録 を見てみよう！

古河市議会ホームページ、または下記2次元コードからご覧になれます。



議会中継



会議録

編集後記

議会だより編集委員会委員長の印出慎也と申します。4月の市議会議員選挙後、初めての定例議会が6月13日から23日に開催されました。議案等の審議や13人の市議会議員が市政に対する一般質問を行いました。

より多くの市民の皆さまに市議会に興味を持っていただけるよう、身近で透明性のある議会を目指して、議会だよりの編集に努めてまいります。

委員長 印出 慎也

【議会だより編集委員会】

委員長 印出 慎也
副委員長 関口 和男
委員 立川 徹 小林登美子
稲葉 貴大 齋見久美子

古河市議会事務局

古河市長谷町38番18号

☎0280-22-5111 (代)